高等部組み立て班　作業学習　学習指導案（略案）

日　　時　令和８年 11 月６日金曜日
　　第２校時　10：20～11：10
場　　所　高等部２学年教室
授 業 者　福谷ちづる（T1）鈴木隆生（T2）
　　小澤木綿子（T3）

1　単元名　「現場実習をがんばろう」

2　単元のねらい

・働くことの意義を知り、自ら仕事に取り組む。（自ら学ぶ生徒）
・働くために必要な態度や技能を身につける。（社会性のある生徒）
・働く生活を通して自分の強みや弱みを知り、自分の進路について主体的に考える。
（挑み、磨く生徒）

3　単元の指導計画（８７時間　本時８５／８７）

次	時数	学習活動	取り扱う教科等の内容	知・技	思・判・表	主
1次	4	○作業場所づくり ○仕事内容、目標等の確認 ○組み立て手順の確認、練習	【国語】高１段階 ア言葉の特徴や使い方（カ） 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 ア	○ ○		
2次	81	○シャープペンの組み立て ○本数の計測 ○箱詰め ○検品（報告・相談）	【国語】高１段階 ア言葉の特徴や使い方（イ） 【国語】高１段階 A聞くこと・話すこと エ 【数学】高１段階 C変化と関係 ア（イ）㋐ 【職業】高１段階 A職業生活 ア（ウ） 【職業】高１段階 A職業生活 イ職業（ア）㋔ 【職業】高１段階 A職業生活 イ職業（イ）㋐ 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 ア	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○
3次	2	○作業場所の片付け ○活動の振り返り	【国語】高１段階 B書くこと ア 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 イ		○ ○	

4　本時について

（１）本時のねらい

① 手順や指示を守りながら取り組むことができる。（自ら学ぶ生徒）
② 言葉遣いや態度等に気を付けながら報告・相談することができる。（社会性のある生徒）

（２）本時の学習活動・取り扱う教科等の内容

学習活動	取り扱う教科等の内容
○シャープペンの組み立て ○本数の計測 ○箱詰め ○検品（報告・相談）	【国語】高１段階　ア言葉の特徴や使い方（イ）＜知・技＞ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 【国語】高１段階　A聞くこと・話すこと　エ　＜思・判・表＞ 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。

	【職業】高１段階　Ａ職業生活　イ職業（ア）　＜知・技＞ ㋑作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業している。 【職業】高１段階　Ａ職業生活　イ職業（イ）　＜思・判・表＞ ㋐作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現している。

（3）　本時の個別の支援・手立て、評価の判断の基準、評価

	本時の個人目標	学習活動	評価の「判断の基準」 ▶支援・手立て
A	①自分で時間内に終わるように優先順位を考えて活動に取り組むことができる。	シャープペンの組み立て	シャープペンを組み立てる本数を自分で決めて、作業の終わり時間までにシャープペンの組み立てを終えることができる。 ▶終わり時間に近づいてきたら、シャープペンを何本組み立てるか聞き、自分で本数を決めることができるようにする。
	②自分から教員に報告や相談をして行動することができる。	報告・相談	自分から教員へ声を掛け、報告や相談をすることができる。 ▶自分から関わっていけるように声のかけ方を教え、促す。
E	①指示された手順で活動に取り組むことができる。	シャープペンの組み立て	手順を守りながら、消しゴムの押し込みが弱くならないように組み立てることができる。 ▶消しゴムの正しい押し込みと正しくない押し込みの写真を用意し、提示する。
	②適切な声の大きさで報告することができる。	報告・相談	周囲に伝わる声の大きさで、必要な報告をすることができる。 ▶適切な声の大きさの時は称賛の言葉かけをし、自信をもって大きな声で報告できるようにする。
F	①約束を守って作業に取り組むことができる。	芯出し	シャープペンの芯を折らずに、芯を出すことができる。 ▶事前に気を付けるポイントを伝える。約束を守って取り組むことができていたら、称賛する。
	②待つ姿勢や言葉づかいに気をつけて報告することができる。	報告・相談	検品を待つ時は正しい姿勢で待ち、丁寧語を使って報告をすることができる。 ▶姿勢が崩れている時は、姿勢を正すよう言葉かけする。 ▶報告の言葉を掲示し、必要に応じて確認できるようにする。
G	①指示を守って正確に作業することができる。	箱詰め	指示通り、箱にシャープペンを詰めることができる。 ▶事前に気を付けるポイントを伝える。正確に取り組むことができていたら称賛する。
	②相手の目を見て大きな声で報告・連絡・相談をすることができる。	報告・相談	相手の目を見て、周囲に伝わる声の大きさで必要な報告をすることができる。 ▶適切な報告ができている時は、称賛の言葉かけをし、自信をもって報告できるようにする。
H	①指示された方法で作業に取り組むことができる。	シャープペンの組み立て	指示された方法で、消しゴムの押し込みが弱くならないように組み立てることができる。 ▶消しゴムの正しい押し込みと正しくない押し込みの写真を用意し、提示する。
	②適切な声の大きさで報告することができる。	報告・相談	会話をする時の声の大きさで、必要な報告をすることができる。 ▶声が大きすぎる時は、声のものさし表を提示して、適切な声の大きさを伝え、その大きさで報告できるようにする。
I	①手順や約束を守りながら、活動に取り組み続けることができる。	本数の計測	カードの印に合わせてシャープペンを並べ、５本ずつ数えることができる。 ▶数字とシャープペンを置く位置が分かるカードを用意し、一本ずつ数えながら並べるよう促す。
	②必要な報告や相談を言葉遣いに気を付けながら自分から行うことができる。	報告・相談	「できました」や「材料をください」等、その場に応じた言葉で伝えることができる。 ▶言葉遣いが不適切な時は、手本を示し言い直すよう促す。
L	①手順やポイント等を守りながら組み立てることができる。	シャープペンの組み立て	手順を守りながら、ゆるみが無いように組み立てることができる。 ▶事前に気を付けるポイントを伝える。正確に取り組むことができていたらポイントに触れながら称賛する。
	②相手に伝わるように自分から活動の報告をしたり、相談をしたりすることができる。	報告・相談	自分から教員へ声を掛け、報告や相談をすることができる。 ▶必要に応じて距離を近くしたり、自ら声を掛けるように言葉かけしたりする。

N	①作業時間内、常に集中して正確に取り組み続けることができる。	シャープペンの組み立て	手順を守り、ポイントを意識しながら取り組み続けることができる。 ▶作業開始前に前回までの反省点等を確認し、何に気を付けると良いか想起してから取り組むよう促す。
	②相手に伝わるように報告や相談をすることができる。	報告・相談	大きな声でハキハキと話しながら、的確に報告・相談をすることができる。 ▶声が聞き取りにくい時や伝え方が曖昧な時は、どのように伝えると良いか手本を示し、再度言い直すよう促す。
T	①指示や約束を守り、正確に活動に取り組むことができる。	シャープペンの組み立て	ペン先のゆるみがないように組み立てることができる。 ▶事前にペン先の締め方について言葉かけし、意識するよう促す。
	②正しい報告の仕方で、自ら報告することができる。	報告・相談	相手に正対するように立ち、適切な言葉で自ら報告することができる。 ▶報告の言葉が不適切な場合は、手本を提示し言い直すよう促す。 ▶報告の最中に次の行動をとらないよう、必要に応じて言葉かけする。
V	①指示を守って最後まで仕事に取り組むことができる。	シャープペンの組み立て	教員の指示を受け入れて、指示通りに取り組むことができる。 ▶指示の意図や良い点について伝え、前向きに受け止められるよう言葉かけする。指示通り取り組むことができている時は称賛する。
	②決められた言葉を使って報告や相談をすることができる。	報告・相談	教員の名前を呼んでから、正しく報告することができる。 ▶報告の仕方が不適切な場合は、言い直すよう促す。自分から適切に報告できている際は、良い点に触れながら称賛する。

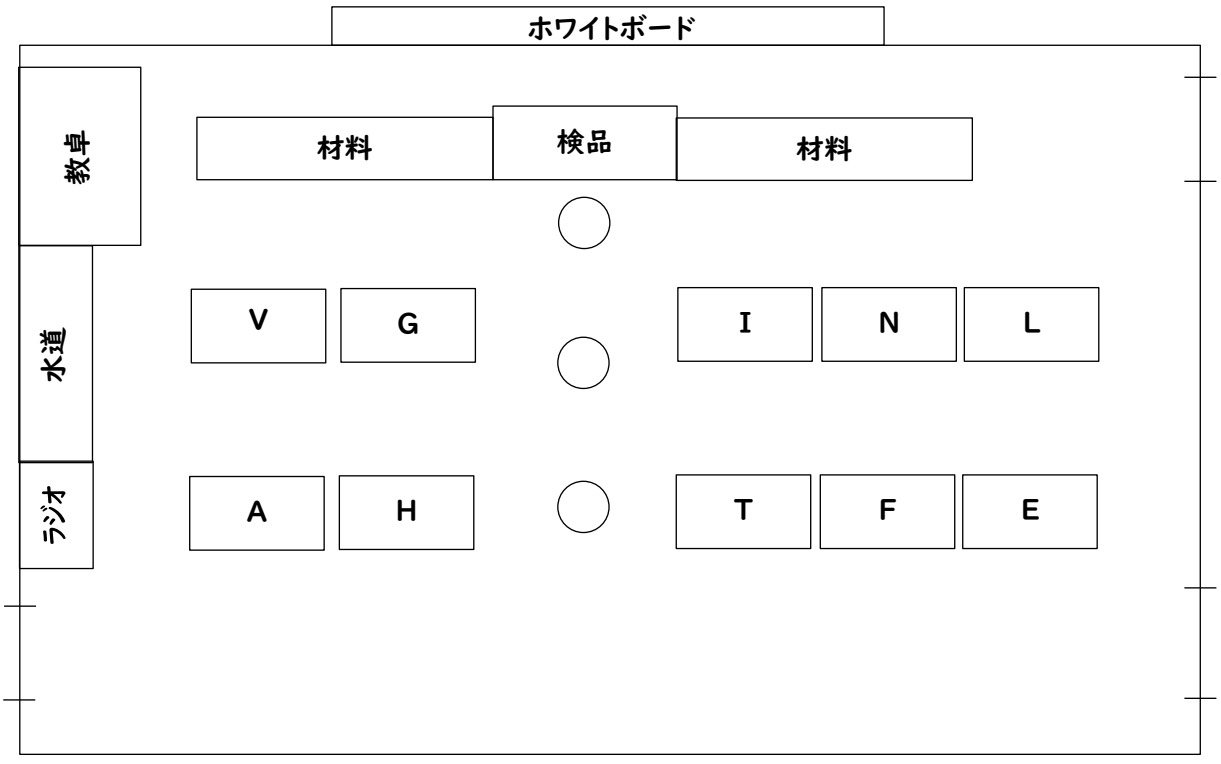
（4） 本時の展開

時間	学習活動	教員の動き（○） 支援（・）
5分	○挨拶（号令：生徒G） ○役割、ポイントの確認	 ○分担や目標等について確認する。（T1）
35分	○仕事開始（ラジオ：生徒H） ・各自担当する箇所の必要な道具を準備し、材料を取りに行く ・作業工程は以下の通り ＜シャープペンの組み立て＞ ①パッチン（本体と上部の組み立て） ②グリップを付ける ③筒を入れる ④ペン先を付ける ⑤消しゴムを付ける ⑥芯出し（生徒F） ※生徒A、E、H、N：①～⑥ ※生徒L、T、V：②～⑤ 生徒A/E/F/H/L/N/T/V　判断の基準① ＜その他＞ ・本数の計測（生徒I） 生徒I　判断の基準①	・材料を受け取る際の言葉や、姿勢等について必要に応じて言葉かけする。（T1） ○作業時不要になるフタを片付けるよう、言葉かけする。（T2） ○材料受け取りの際に、特に意識してほしいポイントについて個別に言葉かけする。（T1） ○生徒L/Nを中心に、手順の間違い等がないか確認し、必要に応じて手本を示したり、言葉かけをしたりする。（T2） ○検品作業等を行いながら、必要に応じて材料受取時の言葉かけ等を行う。（T3） ・手順表や完成品の写真等を提示し、適宜確認できるようにする。（T1） ○生徒Ｉへ数字とシャープペンを置く位置を表記したカードを渡し、使用しながら数えるよう指示する。（T1）

	・箱詰め（生徒G） 生徒G　判断の基準① 〇検品 ・指定された作業が終わったら、教員へ検品をお願いする ・汚れや傷を見つけた際はその都度教員へ報告する 生徒A/E/F/G/H/I/L/N/T/V 判断の基準②	〇生徒Gへ箱に入れる前に再度汚れ等の確認をすることや入れる向き等について伝える。（T1） 〇報告時の言葉や姿勢、声のものさし等について掲示する。（T1） ・言葉や姿勢が不適切な生徒には、手本を示したり、正すよう言葉かけしたりする。（T1、T2）
5分	〇片付け ・余った材料の返却 ・道具のアルコール消毒、返却	〇片付けの指示を出し、材料が余った生徒がいた場合は受け取る。（T1） 〇返却が終わった生徒の道具にアルコールスプレーをし、ペーパータオルで拭くよう指示する。（T2）
5分	〇振り返り ・本数、作業時のミス等の確認 ・次回の確認 〇挨拶（号令：生徒G）	〇作業時の良かった点等に触れながら、作業結果について確認する。（T1） ・必要に応じてT1へ注目するよう言葉かけする。（T2、T3） 〇作業場所の片付け、清掃、実習の振り返りを行うことを確認する。（T1）

5　備考

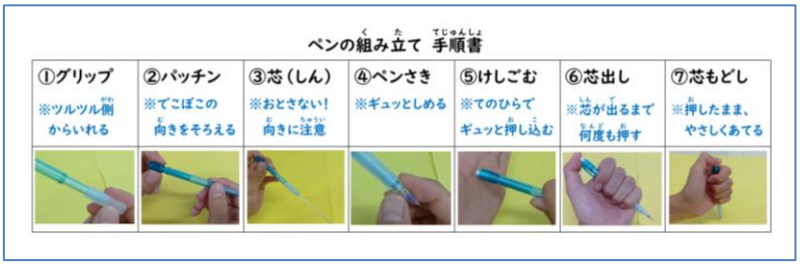
・教室配置図



・教室前方掲示



・手順表



・手順表（N 用）



・手順表（L 用）



・本数計測用

